

大学4年生 最近、「ふと感じたこと」



本日は4年生5名に、「最近の様子」についてお話を伺いました。

大学4年生になりましたね。

松永)他の学部だったら、もう卒業の時期なんだね。
石井)高校の時の友達が、去年の今頃から「就活」していて、実際もう社会に出て行くんだなって思ったことがあって……。あと2年大学生を続けていく私たちって、何か「取り残されている」って気持ちがちょっとあったことを思い出すな～

遠山)僕たちだって来年は「実務実習」が控えていて、約5カ月間の社会経験を積むんだから、そういった意味では「社会に出る気構え」っていうのは準備できているんじゃないのかな。

渡邊)でも、実際に「社会人になる」のと、「学生のまま」ってのは、大きな差があると思うな。

松永)2年間長く学生を経験することで、いざ、社会に出る時までに、それだけ多くの知識や経験を「貯金」することができるって考えれば、残りの2年間を無駄に過ごすわけにはいなくなるよね。

渡邊)でも、もう大学に入ってもう4年も過ぎちゃったんだ……。僕はこの4年間、すごく充実したって思ってる。だってこれまでに吸収したことって、今更に振り返るとハンパなくすごい量じゃない？

遠山)3年生までは、「まだ学生生活が半分も残ってる」って思っていたけど、この1年は本当に早かった。CBT(5年次に実務実習に参加するために必要な基礎学力試験)があったからかな……？

石井)CBTは確かに緊張したね(笑)だけど、私は2年生のときの総合演習1(2年から3年に進級するために必ず単位を取らなければいけない科目。最近では1、2年次の総合基礎学力テストを行っている)の時の辛い記憶があったから、なんとか頑張れたな。

松永)総合演習1は、ホント必死だったよね(笑)

石井)総合演習1のときは「留年したくない！」ってプレッシャーで勉強していたけど、CBTの時は「早く、実習に行きたい！」って前向きに勉強できたから……。集中して、ある意味で楽しめたからこそ時の流れが速く感じたのかな？

鈴木)でも、確かに1、2年の時って基礎的な勉強が多くて、モチベーション下がった時期もあったなあ～。3になると、医療や薬物に関する授業が増えて、勉強が楽しめた感じはするよね。

渡邊)確かに！僕も1、2年で机に向かっているだけの勉強は、モチベーション上がなかったなあ～。松永)でも3年以降、確かに勉強が面白くなったけど、反面、1、2年の時の勉強の大切さに気付かされたことも正直な気持ちかな。解剖とか、ホント最初から前向きに勉強できていたらなあ～って後悔する時があったもん(笑)

渡邊)僕は、化学や物理……。 (笑)

遠山)でも、「大事なこと」に気付くタイミングって、難しいよね。僕は、気づくのが遅くて……。いつも「も

っと早く気付いていたら」って後悔が……

石井)でも「大事なことに気付く力」ってあまり考えたことなかったけど、ポイントを外さないってことでしょ？そういうスキルをこれからも、少しずつでも身に付けていきたいなあ～

鈴木)そういうのって、「センス」もあるよね(笑)でも、大事なことや大事なものって、失敗したり、失って初めて気づくことが多いよね。それって、大事なことって案外当たり前前のことが多いから、当たり前すぎて気付かないことが多いだろうね。



松永)そうだね。当たり前のことだから、見えなくなっちゃう事って多いかもしれないね。だから私は、大事なことは定期的に考えるようにしてるんだ。そうすれば、忘れないしね……

渡邊)僕は身の回りについていうか、大事なものは近くに置いておくようにしている！いつでも、目が届くように！でも、こういうのはライフスキル的一种だろうし、セルフコントロールのスキルだね(笑)

遠山)そういうのも、この4年間の成長かな？(笑)

石井)成長って言えば、この4年間、すごくグループワークをする機会が多かったけど、そういう作業を通じて人との協働とかコミュニティーマネジメントとかのスキルが、すごく成長したって実感する！

遠山)そうだね。確かにこの大学では、エイジミキシング(異なる学年同士)のグループワークや他学部(看護学部や福祉総合学部)とのグループワークもあって、新鮮だったね。

渡邊)でも、そういう経験も大事だよな。それこそこれから実務実習に行ったら、薬剤師の先生や、医師、看護師、そして患者さんとのコミュニケーションも大事だろうし……。初めて出会った人といきなりのグループワークって言うのは、いろんな意味で大きな力になったのかもしれないね。

松永)実は私、実習に対してその部分がすごく不安だったんだけど……。患者さんや薬剤師の先生たちとうまくコミュニケーション図れるかなって……。でも、そういうことなんだよね。渡邊クンに言われてみて、今、気付いたよ。

石井)だから、気付くタイミングが遅いって(笑)

鈴木)私はみんなが知ってるように、あんまり人前で話をするのが得意じゃなくて……。 (笑)

遠山)でもグループワークの時って、けっこう活躍してるよね。

鈴木)そう言ってもらえると……。私は自分から切り出せない性格だから、みんなの話を聞いて、纏める方が得意になって。自分でも、もっと積極的に！って気持ちもあるけど、グループっていうのはチームでもあって、いろんな役割があるから、私は私らしい役割で頑張ればいいのか？って、思っていたりもしてるんだ

遠山)僕はいつも思いつきで発言しちゃうんで……。少しは鈴木さんを見習って、しっかり「まとめる」作業もできるようにしなきゃ(笑)



今、思っていることや考えていることを教えてください。

遠山)僕は将来、MR職を希望していて……。だからもっと視野を広げるためにも、学外のいろんなことにチャレンジしてみたいと思っています。

松永)私は病院希望！だから、遠山クンの言う視野を広げるって意味では、医学生とか看護学生たちと交流を持ちたいなって思っています。

石井)JIUは総合大学なんだから、もっと他学部の学生とも交流を持ちたいです！

鈴木)私はもっと同級生と……。 (笑)

渡邊)みんなは「人」を通じて視野を広げたいって感じたね。僕は、これから「実験」に頑張りたいなって思ってるんだ。せっかく薬理の研究室には入れたし、僕も将来は病院で働きたいとは思ってるけど、「研究」にとことん打ち込んでみて、その先に見えてくるものが、将来の自分にどれだけ生かせるのかって感じてみたい！

遠山)研究室に配属するって、ちょっと緊張感あるよね。先輩たちから学ぶことも多いだろうし。この前、MRに内定している先輩と話をする機会があって、就活の時の「手帳」を見せていただいたんだけど……。ハンパなく充実して……。そんな先輩たちから刺激もらえると最高だね。

松永)私も今年、簡単な研究活動を先輩に教えてもらって、先輩からいろんな情報を教えてもらえてすごくよかった！

石井)「人」を通じてでも、「取組み」を通じてでも、とにかく自分からアクション起こせる1年にしたいね！そうすれば、きっと楽しい毎日になるよ！

鈴木)ホント！そんな毎日を過ごせば、今の自分より少しは成長できるだろうし、後輩に慕われる先輩を目指したいな！



渡邊 裕斗
中京高校出身
(岐阜県)

松永 奈緒
仙台北百合高校出身
(宮城県)

鈴木 菜月
木更津東高校出身
(千葉県)

遠山 純平
江戸川高校出身
(東京都)

石井 美咲
華張総合高校出身
(千葉県)



城西国際大学の6年制薬学教育



「遠くの大病院よりも、近くの頼れる薬剤師に！」

超高齢化と国際化が進む日本社会のこれからの地域医療を支えるために、主体的に行動できる薬剤師の輩出を目指しています。

従来の医療薬学のみならず、栄養、福祉、看護・介護、セルフメディケーションなどの幅広い専門知識と国際感覚を有し、あらゆるライフステージにある人々の健康に興味・関心を抱き、人々から信頼される、地域に根ざした薬剤師を養成します。

毎日の積み重ね……授業風景



国際薬学ウィーク 2013 Nov. 25-29, 2013

クソリを通して世界を考える 国際薬学ウィーク2013が開催されました。この期間中、The 4th Asia Pacific Pharmacy Education Workshop 2013 (The 4th APPEW)、Dr. Erni P. Kolopaking (from Malaysia) による第9回国際教育セミナー、有沢幹雄博士 (中外Oncology学術振興会議 常務理事) による「グローバル企業で活躍するための英語術」の御講演がありました。城西大学との共催である The 4th APPEWには、アジア環太平洋地域 (アメリカ、インドネシア、カナダ、韓国、シンガポール、フィリピン、タイ、中国、マレーシア、日本など) における薬科大学の教職員が集まり、薬学教育グローバル化に対する調和と同調性を目的に、より優れた薬学教育研究手法の共有化を目指しました。来年はタイ・Chulalongkorn大学で行われます。グローバルな薬剤師育成に向け、アジア環太平洋における教職員の信頼関係が深化することを願います。

松本健次郎 先生(薬理学研究室) 異動 (京都薬科大学)



写真左) 松本健次郎 先生
写真右) 卒業生 細谷拓司さん
(現 (株)富士薬品 第二研究所)

松本先生は、昨年10月末に開催された第57回日本薬学会関東支部大会にて奨励賞を受賞されました。奨励賞は41歳未満の学会員の中から優れた研究業績を挙げた研究者3名に授与されるものです。受賞研究では、卒業生 細谷拓司さんの卒業研究結果も含まれております。

薬理学研究室で助手をされておりました、松本健次郎先生が2013年12月31日付で本学を退職し、2014年1月1日より京都薬科大学 薬物治療学分野に異動されました。今後、益々のご活躍を！



第9回 国際教育セミナーにてDr. Erni P. Kolopakingと一緒に



Dr. Erni P. Kolopakingの講義



有沢博士による講演に耳を傾ける学生たち

2014年度
入学生 募集

大学院 薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程

<http://jiu.ac.jp/pharmacy/graduate/index.html>

薬学部 医療薬学科 (6年制)

<http://jiu.ac.jp/pharmacy/>

城西国際大学 入試・広報センター

TEL: 0475-55-8855 E-mail: admis@jiu.ac.jp